

児童の外遊び改善に関する一考察

— 小学校休み時間における外遊びに関するアンケート結果をもとに (第2報 Y市立K小学校を対象に) —

A consideration of the improvement of elementary school students' outdoor play
— Based on student feedback about outdoor play during break times
(The 2nd report) A feedback intended for Y Municipal K elementary school —

奥 野 暢 通・八 橋 未 来
Masamichi OKUNO and Mirai YABASE

I. 目的

文部科学省は、主体的に体を動かす遊びを中心とした身体活動を、幼児の生活全体の中に確保していくことを求めている¹⁾。その効果として、多様な動きを身に付けることができ、心肺機能の向上、骨形成、生涯にわたって健康を維持したり、何事にも積極的に取り組む意欲を育んだり豊かな人生を送るための基盤づくりになると述べている。さらに、小学校において体育は小学校学習指導要領の総則³⁾に示されるように「児童の発達の段階を考慮して、学校のエデュケーション全体を通じて行うものとする。」とされている。そのために、文部科学省は体育の授業や遊びを通して、運動好き・体育好きな児童を育てることを目標としていて、動遊びを充実するために異学年での遊びを通しての交流を図ったり³⁾、「みんな遊び」に教師も参加する取り組みを実際に行っている。ほかにも、教科担任制の導入を行って児童の運動に参加する意欲の向上を図っている³⁾。しかし、大阪市で行われた児童の平日の外遊びの平均時間の調査⁴⁾では、昭和59年7月に93分であったのが平成19年7月は87分と、小学校児童の外遊び時間の減少が見られる。その原因には、テレビやゲームなどの普及や習い事の参加により、遊ぶ「時間」や「仲間」の減少、人口の都市集中や住宅の密集化により手軽に遊ぶことのできる場所の減少が挙げられている。

奥野ら⁵⁾は、1つの小学校でアンケートをとったところ、習い事や通塾率、携帯電話の保有率が遊ぶ時間と関係するのではないかと予想していたが、それらを調査するに至っていなかった。そこで、本研究では奥野ら⁵⁾の調査項目に習い事、携帯電話、携帯ゲーム機に関する項目を新たに設け、異なった小学校1校を対象にアンケートを行い、教師としてどのように取り組めば子どもたちが外でよく遊ぶようになるのかを検討することを目的とした。

II. 方法

1. 対象

Y市立Kの全校児童(1年生63名、2年生63名、3年生76名、4年生70名、5年生81名、6

年生79名、計432名)を対象に、1回目の付記1(中・高学年用)、付記2(低学年用)、追加分(2回目)の付記3(中・高学年用)、付記4(低学年用)のアンケートを行った。いずれの場合も家庭に持ち帰らずアンケート実施時に回収した。

2. 倫理的配慮

なお、本アンケートは個人の特定はせず研究以外では使用しないということを口頭で伝え、無記名で氏名記入欄は設けなかった。

3. アンケートの実施時期

平成27年11月に行い(質問(1)から(18))、12月に追加分(質問(19)から(22))を実施した。そのため、初回の実施分と追加の実施分ではアンケート用紙の集計番号は一致していない。

4. 内容

アンケートは低学年用と中・高学年用に分けた。低学年用はできるだけひらがなを多く用いた。また、中・高学年用のアンケートの質問(4)あなたは、1日どのくらい外で遊びますか。(近いと思う番号に○をつけましょう)は、低学年には回答が難しいと考え削除した。

質問(1)、(2)は、外で遊んだり体を動かしたりすることが好きな児童はどのくらいいるのか、現状を調べるために設定した項目である。

質問(3)は、外で遊んだり体を動かしたりすることが好きではない原因を調べ、そこから、どうすれば好きになるのかを考えるために設定した項目である。

質問(4)は、外で全く遊ばない児童の数を把握したり、どのくらいの時間であれば外遊びをしたりするのかを把握するために設定した項目である。

質問(5)、(6)は、単純に中か外かどちらで遊ぶのが好きか問い、その理由から中や外で遊ぶことの利点や欠点を把握するために設定した項目である。

質問(7)は、一番楽しかった外遊びを把握し、その遊びをもう一度行ってみれば外で遊ぶことが楽しいと思うことができ、外で遊ぶ児童も増えるのではないかと考え設定した項目である。

質問(8)は、児童が外で遊ぶ時間を確保できない原因として、習い事や通塾率が関係していることが示唆されるため、どのような習い事をどのくらいしているのか把握するために設定した項目である。

質問(9)、(10)は、外で遊ぶことは好きかを休み時間に限定して聞き、質問(1)、(2)と比べどう変化するのかを調べるために設定した。休み時間に限定して質問したとき、(1)、(2)と違った結果が出れば、休み時間での外遊びが外遊びを推進したり妨げたりする何かしらの要因があると考え設定した項目である。

質問(11)、(12)、(13)は、3つの休み時間での外遊びの頻度を調べることで、それぞれの休み時間ごとに、外遊びが多い要因、少ない要因を明らかにするために設定した項目である。

質問（14）、（15）は、児童が一番よく遊んでいる場所を調べ、人数が多かった場所や少なかった場所はなぜそのような結果になったのかの原因を調べるために設定した項目である。そこから、遊びやすい環境とはどのようなものであるかを明らかにしようとした。

質問（16）は、今日の小学生にはどのような遊びが流行しているかの現状を調べるために設定した項目である。そして、意見が多かった遊びを「みんな遊び」などで取り入れていけばさらに外遊びの推進を図ることができると考え設定した。

質問（17）、（18）は、「みんな遊び」の現状と、児童は「みんな遊び」に対してどう思っているのかを調べるために設定した。「みんな遊び」に対してどう思っているかを調べるために設定した項目である。「みんな遊び」に対しての不満も聞き、そこから、どう改善していけばさらに良い「みんな遊び」になるであろうかを考えるための項目である。

追加項目の質問（19）、（20）、（21）、（22）は、児童が外で遊ぶ時間を確保できない理由に携帯電話やスマートフォン、携帯ゲーム機の所持が考えられたために設定した項目である。そこで、児童が自由に使うことのできる携帯電話やスマートフォン、携帯ゲーム機を持っているのかを調べた。さらに、それは誰のものであるのかを明らかにすることによって、本人への外遊びへの推進だけでなく保護者にも推進を呼びかけることができるようになると考え設定した。

5. 分析方法

質問（1）、（2）、（4）、（5）、（9）、（11）、（12）、（13）、（14）、（17）、（19）、（20）、（21）、（22）は選択肢での回答とし、質問（3）、（6）、（7）、（8）、（10）、（15）、（16）、（18）は記述式での回答とし、考察のために用いた。また、記述での回答内容では児童の記述からキーワードとなる単語をもとに分類を行い、最も共通すると考えられる項目名を付け考察に用いた。

分析は選択肢、記述での回答が混在するため単純統計で行った。

使用ソフトにはマイクロソフト・オフィス・エクセルを用い集計・統計処理を行った。

Ⅲ. 結果ならびに考察

1. 選択肢回答の学年別結果から見えること

表1-（1）、（2）は学年別の選択肢回答の質問項目に対する回答数と有効回答数に対する割合を示したものである。

質問（1）の外遊びの好き嫌いの項目では全学年で「①好き」と回答した児童が多かった。特に4年生が49名（70.0%）と高い数字を示したのに比べ、6年生では40名（50.6%）と低くなっていることが認められた。高学年で低下する傾向は奥野ら⁵⁾の報告と同様であった。

質問（2）の体を動かすことの好き嫌いの項目でも全ての学年で「①好き」と回答した児童が多かった。しかし、学年間に大きな差はなく一定の傾向は認められなかった。

質問（4）の外遊びの時間は3、4年生では「①2時間以上」がそれぞれ25、20名（33.3、28.6%）と最も多く、5年生では「③30分～1時間」が30名（37.0%）、6年生では「④30分以下」という回答が29名（36.7%）と最も多かった。学年が上がるにつれて外遊びの時間が低下する結果であった。

表 1 - (1). 学年別の選択肢回答の質問項目に対する回答数

質問 番号	学年	回答数 人 (回答数/有効回答数)					未回答・その他	回答数	有 効 回答数
		①	②	③	④	⑤			
(1)	1 年	42 (66.8)	14 (23.0)	0 (0.0)	5 (8.2)		2	63	61
	2 年	37 (58.7)	21 (33.3)	2 (3.2)	3 (4.8)		0	63	63
	3 年	49 (64.5)	20 (26.3)	7 (9.2)	0 (0.0)		0	76	76
	4 年	49 (70.0)	13 (18.6)	6 (8.6)	2 (2.9)		0	70	70
	5 年	48 (59.3)	27 (33.3)	4 (4.9)	2 (2.5)		0	81	81
	6 年	40 (50.6)	32 (40.5)	6 (7.6)	1 (1.3)		0	79	79
(2)	1 年	40 (65.5)	16 (26.2)	1 (1.6)	4 (6.6)		2	63	63
	2 年	43 (68.3)	16 (25.4)	2 (3.2)	2 (3.2)		0	63	63
	3 年	49 (65.3)	18 (24.0)	8 (10.7)	0 (0.0)		1	76	75
	4 年	47 (67.1)	18 (25.7)	4 (5.7)	1 (1.4)		0	70	70
	5 年	50 (61.7)	26 (32.1)	4 (4.9)	1 (1.2)		0	81	81
	6 年	42 (53.2)	29 (36.7)	7 (8.9)	1 (1.3)		0	79	79
(4)	1 年								
	2 年								
	3 年	25 (33.3)	15 (20.0)	16 (21.3)	19 (25.3)		1	76	75
	4 年	20 (28.6)	19 (27.1)	19 (27.1)	12 (17.1)		0	70	70
	5 年	21 (25.9)	14 (17.3)	30 (37.0)	16 (19.8)		0	81	81
	6 年	20 (25.3)	14 (17.7)	16 (20.3)	29 (36.7)		0	79	79
(5)	1 年	37 (71.1)	15 (28.8)				11	63	52
	2 年	36 (57.1)	27 (42.9)				0	63	63
	3 年	58 (76.3)	18 (23.7)				0	76	76
	4 年	49 (70.0)	21 (30.0)				0	70	70
	5 年	58 (71.6)	23 (28.4)				0	81	81
	6 年	39 (51.3)	37 (48.7)				3	79	76
(9)	1 年	45 (72.6)	11 (17.7)	0 (0.0)	6 (9.7)		1	63	62
	2 年	33 (52.4)	22 (34.9)	4 (6.3)	4 (6.3)		0	63	63
	3 年	42 (55.3)	25 (32.9)	9 (11.8)	0 (0.0)		0	76	76
	4 年	46 (65.7)	19 (27.1)	4 (5.7)	1 (1.4)		0	70	70
	5 年	45 (55.6)	18 (22.2)	17 (21.0)	1 (1.2)		0	81	81
	6 年	29 (36.7)	29 (36.7)	15 (19.0)	6 (7.6)		0	79	79
(11)	1 年	41 (66.1)	9 (14.5)	3 (4.8)	9 (14.5)		1	63	62
	2 年	31 (50.0)	15 (24.2)	6 (9.7)	10 (16.1)		1	63	62
	3 年	24 (32.0)	11 (14.7)	18 (24.0)	22 (29.3)		1	76	75
	4 年	31 (44.3)	9 (12.9)	15 (21.4)	15 (21.4)		0	70	70
	5 年	36 (44.4)	8 (9.9)	8 (9.9)	29 (35.8)		0	81	81
	6 年	22 (27.8)	5 (6.3)	14 (17.7)	38 (48.1)		0	79	79
(12)	1 年	38 (65.5)	8 (13.8)	3 (5.2)	9 (15.5)		5	63	58
	2 年	35 (56.5)	10 (16.1)	8 (12.9)	9 (14.5)		1	63	62
	3 年	28 (37.3)	13 (17.3)	17 (22.7)	17 (22.7)		1	76	75
	4 年	45 (65.2)	8 (11.6)	11 (15.9)	5 (7.2)		1	70	69
	5 年	37 (45.7)	7 (8.6)	15 (18.5)	22 (27.2)		0	81	81
	6 年	21 (26.9)	8 (10.3)	15 (19.2)	34 (43.6)		1	79	78

表 1 - (2). 学年別の選択肢回答の質問項目に対する回答数

質問 番号	学年	回答数 人 (回答数/有効回答数)						回答数	有 効 回答数
		①	②	③	④	⑤	未回答・その他		
(13)	1 年	39 (63.9)	6 (9.8)	4 (6.6)	12 (19.7)		2	63	61
	2 年	37 (58.7)	5 (7.9)	12 (19.0)	9 (14.3)		0	63	63
	3 年	34 (44.7)	14 (18.4)	23 (30.3)	5 (6.6)		0	76	76
	4 年	47 (67.1)	7 (10.0)	13 (18.6)	3 (4.3)		0	70	70
	5 年	38 (46.9)	9 (11.1)	28 (34.6)	6 (7.4)		0	81	81
	6 年	23 (29.1)	9 (11.4)	33 (41.8)	14 (17.7)		0	79	79
(14)	1 年	38 (62.3)	4 (6.6)	19 (31.1)	0 (0.0)		2	63	61
	2 年	43 (70.5)	0 (0.0)	18 (29.5)	0 (0.0)		2	63	61
	3 年	45 (59.2)	0 (0.0)	31 (40.8)	0 (0.0)		0	76	76
	4 年	50 (71.4)	2 (2.9)	18 (25.7)	0 (0.0)		0	70	70
	5 年	46 (56.8)	0 (0.0)	35 (43.2)	0 (0.0)		0	81	81
	6 年	26 (32.9)	0 (0.0)	52 (65.8)	1 (1.3)		0	79	79
(17)	1 年	49 (81.7)	8 (13.3)	0 (0.0)	1 (1.7)	2 (3.3)	3	63	60
	2 年	24 (38.1)	5 (7.9)	0 (0.0)	2 (3.2)	32 (50.8)	0	63	63
	3 年	49 (64.5)	22 (28.9)	4 (5.3)	1 (1.3)	0 (0.0)	0	76	76
	4 年	47 (68.1)	13 (18.8)	6 (8.7)	2 (2.9)	1 (1.4)	1	70	69
	5 年	44 (54.3)	27 (33.3)	7 (8.6)	1 (1.2)	2 (2.5)	0	81	81
	6 年	30 (38.0)	22 (27.8)	5 (6.3)	1 (1.3)	21 (26.6)	0	79	79
(19)	1 年	30 (49.2)	31 (50.8)				2	63	61
	2 年	37 (61.7)	23 (38.3)				3	63	60
	3 年	38 (50.0)	38 (50.0)				0	76	76
	4 年	49 (70.0)	21 (30.0)				0	70	70
	5 年	48 (64.0)	27 (36.0)				6	81	75
	6 年	37 (49.3)	38 (50.7)				4	79	75
(20)	1 年	15 (51.7)	14 (48.3)	0 (0.0)			1	30	29
	2 年	27 (73.0)	10 (27.0)	0 (0.0)			0	37	37
	3 年	28 (73.7)	9 (23.7)	1 (2.6)			0	38	38
	4 年	41 (83.7)	8 (16.3)	0 (0.0)			0	49	49
	5 年	23 (47.9)	25 (52.1)	0 (0.0)			0	48	48
	6 年	33 (89.2)	4 (10.8)	0 (0.0)			0	37	37
(21)	1 年	30 (50.0)	30 (50.0)				3	63	60
	2 年	43 (72.9)	16 (27.1)				4	63	59
	3 年	49 (64.5)	27 (35.5)				0	76	76
	4 年	59 (84.3)	11 (15.7)				0	70	70
	5 年	70 (92.1)	6 (7.9)				5	81	76
	6 年	67 (89.3)	8 (10.7)				4	79	75
(22)	1 年	10 (35.7)	18 (64.3)	0 (0.0)			2	30	28
	2 年	21 (48.8)	22 (51.2)	0 (0.0)			0	43	43
	3 年	40 (81.6)	8 (16.3)	1 (2.0)			0	49	49
	4 年	52 (88.1)	7 (11.9)	0 (0.0)			0	59	59
	5 年	61 (88.4)	8 (11.6)	0 (0.0)			1	70	69
	6 年	61 (91.0)	6 (9.0)	0 (0.0)			0	67	67

質問（５）の外遊びか、中遊びかのどちらが好きかという項目では全ての学年で外遊びの方が高い割合を示した。しかし、６年生では両者の差が2.6ポイントしかないことが認められた。

質問（９）の休み時間に外で遊ぶのは好きかという項目でも「①好き」という回答が多かったが、６年生では「①好き」と「②まあまあ好き」が同じ29名（36.7％）で他の学年とは異なる傾向が認められた。

質問（１１）の朝休みに外で遊んでいる頻度については１～５年生で「①ほぼ毎日」が24～41名（32.0～66.1％）と最も高い割合であったのに対し、６年生では「④全く遊ばない」が38名（48.1％）と最も高い結果を示した。

質問（１２）の中間休みに外で遊んでいる頻度についての項目でも１～５年生では「①ほぼ毎日」という回答が28～45名（37.3～65.5％）と最も多かったのに対し、６年生では「④全く遊ばない」が34名（43.6％）と最も多かった。

質問（１３）の昼休みに外で遊んでいる頻度についての項目では１～５年生では「①ほぼ毎日」という回答が34～47名（44.7～67.1％）と最も多いが、６年生では「③１週間に１回」という回答が33名（41.8％）と最も多かった。

質問（１４）の休み時間によく遊んでいる場所についての項目では、１～５年生は38～50名（59.2～71.4％）が「①の運動場」で最も多く遊んでいるが、６年生は52名（52.8％）が「③の校舎内」で最も多く遊んでいることが認められた。

質問（１７）のみんな遊びが楽しいかについての項目では、１、３、４、５、６年生は30～49名（38.0～81.7％）が「①楽しい」と回答する割合が高かったのに対し、２年生では「⑤していない」が32名（50.8％）と最も多かった。

質問（１９）の携帯電話やスマートフォンを所持しているかについての項目では２、４、５年生で持っていると回答した児童が37、49、48名（61.7、70.0、64.0％）と多く、その他の学年では両者に差はあまり見られなかった。

質問（２０）のその携帯電やスマートフォンは誰のものかという項目では「①自分のもの」であると回答した割合は５年生の23名（47.9％）を除き、15～41名（51.7～89.2％）と個人で所有している割合が高かった。

質問（２１）の携帯ゲーム機を持っているかという項目では１年生が①、②共に30名（50.0％）を示したが、その他の学年は「①自分のもの」が最も多く特に５年生は70名（92.1％）ととても高い数字を示した。

質問（２２）のそのゲーム機は誰のものかという項目では低学年は18、22名（64.3、51.2％）が「②家族のもの」と回答したが、中・高学年は「①自分のもの」という回答が40～61名（81.6～91.0％）で多く、学年が上がるにつれて高くなる傾向が認められた。

２．全学年の合計回答傾向から見えること

表２は選択肢で回答する質問に対する回答数の全学年の合計を示したものである。表１の学年別の回答数を全学年で合計を示した（質問４については低学年では設定していないため合計数より省いている）。回答はよく外遊びをしていたり体を動かしたりすることが好きな児童が

表 2. 選択肢で回答する質問に対する回答数 (人)

質問番号 回答番号	①	②	③	④	⑤	未回答・ その他	有 効 回答数
(1)	265	127	25	13		2	430
(2)	271	123	26	9		3	429
(4)	86	62	81	76		1	305
(5)	277	141				14	418
(9)	240	124	49	18		1	431
(11)	185	57	64	123		3	429
(12)	204	54	69	96		9	423
(13)	218	50	113	49		2	430
(14)	248	6	173	1		4	428
(17)	243	97	22	8	58	4	428
(19)	239	178				15	417
(20)	167	70	1			1	238
(21)	318	98				16	416
(22)	245	69	1			3	315

①側に寄る形で示した。

(1) 外遊びや運動の好き嫌いについて

質問 (1) の外遊びの好き嫌いの項目で、「①好き」、あるいは「②まあまあ好き」と回答した児童が、392 / 430人 (91.2%) であった。

質問 (2) の体を動かすことの好き嫌いの項目で、「①好き」、あるいは「②まあまあ好き」と回答した児童が394 / 429人 (91.8%) であった。

ここから、多くの児童が基本的には外遊びや体を動かすことが好きであることが明らかになり、奥野ら⁵⁾と同様の結果であった。

(2) 外遊びの時間について

質問 (4) の一日の外遊びの時間の項目で、それぞれの時間に大きな差は見られなかったものの、遊ぶ時間が1時間未満と回答した児童が157 / 305人 (51.5%) と約半分であった。大阪市で平成19年に行われた児童の平日の屋外遊びの平均時間の調査⁴⁾結果の87分と比べると外遊びの時間の少ない児童が多いことが認められた。

国立教育政策研究所の調査⁶⁾によると平成27年度の児童の通塾率は47.4%、スマートフォンや携帯電話、携帯ゲーム機の保有率58.2%である。このことが児童の外遊びの減少と関係があると考えられるため、質問 (19)、(20) の項目で所有率を調べた。その結果、質問 (19) スマートフォンや携帯電話を持っているかの項目で「①持っている」と回答した児童は239 / 417人 (57.3%) であり、先ほどの報告⁶⁾と近い結果を示した。質問 (21) 携帯ゲーム機を持っているかの項目で「①持っている」と回答した児童は318 / 416人 (76.4%) であり、先ほどの報告⁶⁾を上回っており遊ぶ時間の減少に関係していることが明らかとなった。

(3) 外遊びの好き嫌いについて

質問（5）の中か外のどちらで遊ぶことが好きかという項目で、「①外」と回答した児童は277 / 418人（66.3%）で奥野ら⁵⁾の報告とほぼ同じで基本的には子どもは外で遊びたいと考えられる。

(4) 休み時間の外遊びの好き嫌いについて

質問（9）の休み時間での外遊びの好き嫌いの項目では、「①好き」、または「②まあまあ好き」と回答した児童が、364 / 431人（84.5%）であった。質問（1）、（2）と比べて割合が低くなっており、奥野ら⁵⁾と同様の結果を示した。その理由として、学校の休み時間であり遊ぶ時間が決まっていたり、遊べる遊びの幅が制限されていたりすることが予想された。

(5) 休み時間に外で遊ぶ頻度について

質問（11）の朝休みに外で遊ぶ頻度の項目で、「④全く遊ばない」と回答した児童は123 / 429人（28.7%）で、質問（12）の中間休みに外で遊ぶ頻度の項目で「④全く遊ばない」と回答した児童は96 / 423人（22.7%）であった。しかし、質問（13）の昼休みに外で遊ぶ頻度の項目で「④全く遊ばない」と回答した児童は49 / 430人（11.4%）であり、朝休み、中間休み、昼休みの順で全く遊ばない児童が減っていることが認められた。さらに、昼休みに外で遊ぶ頻度の項目では「③の1週間に1回」と回答した児童は113 / 430人（26.3%）と増えていたことから、普段外で遊ばない児童も外で遊んでいることがわかる。それは、昼休みほとんどの学級で1週間に1回取り組まれている「みんな遊び」の効果であることが推測された。

(6) 「みんな遊び」の好き嫌いについて

質問（17）の「みんな遊び」は楽しいかという項目で、「①楽しい」、または「②まあまあ楽しい」と回答した児童は340 / 428人（79.4%）であった。行われていないクラスや、クラスの中で数名「⑤していない」と回答している児童もいるが、「みんな遊び」の実施は児童の外遊びのきっかけになることが推察された。

3. 学年別（低・中・高学年別を含む）傾向から見えること

次いで、低・中・高学年あるいは学年別にみた場合に特徴のみられた項目について述べていく。

(1) 遊び場所は外か中かどちら 表3. 中か外のどちらで遊ぶのが好きかの質問に対する回答数（人）

表3は外か中のどちらで遊ぶのが好きかについての質問（5）に対する回答数を低・中・高学年別に示したものである。

回答番号 質問番号	学 年	①	②	未回答	有効回答数
(5)	低学年	73	42	11	115
	中学年	107	39	0	146
	高学年	97	60	3	157

①の外で遊ぶ方が好きと回答した児童は、中学年が107 / 146人 (73.3%) と一番多く、高学年が97 / 157人 (61.8%) と一番少なく、奥野ら⁵⁾と同様の結果を示した。その要因として携帯電話やスマートフォンの保有率が関係すると思ったが、質問 (19) に見られるように4年生が49 / 70人 (70.0%) と一番高いことから関係性は薄いことがうかがえる。しかし、携帯ゲーム機の保有率は、質問 (21) に見られるように5年生が70 / 76人 (92.1%)、6年生が67 / 75 (89.3%) の順に高いことから、携帯ゲームとの関係性は大きいと考えられる。さらに奥野ら⁵⁾は、遊び時間が減少する原因に習いごとがあると示唆していたため、どんな習いごとをしているか調査を行った。

表4はどんな習いごとをしているかの質問に対する回答と回答件数を学年別ならびに全学年の合計を示したものである。

学習系の習いごとをしている児童は5年生が49 / 138人 (35.5%)、次いで6年生が41 / 125人 (32.8%) と他の学年より高いため、高学年で外遊びが少ない原因になると考えられた (未回答は「していない」に含む)。このことから、家庭と連携し、習いごとがない日などはゲームやスマートフォンで遊ぶのではなく、外で遊ぶように声をかけてもらうことで外遊びの時間が増加すると考えられる。

表4. どんな習いごとをしているかの質問に対する回答と回答件数 (複数回答可)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計
学修系	27	28	33	27	49	41	205
スイミング	19	19	22	25	12	13	110
習字	10	15	14	15	15	10	79
ピアノ	8	11	13	14	14	14	74
野球	0	4	11	7	10	5	37
そろばん	3	4	9	4	3	5	28
サッカー	1	0	6	5	8	8	28
空手	3	8	7	5	1	0	24
体操	3	6	2	3	0	1	15
バレーボール	1	0	2	0	4	8	15
バドミントン	0	1	1	1	4	4	11
テニス	0	1	2	3	3	1	10
ダンス	0	4	3	0	1	0	8
バレエ	0	2	0	1	2	1	6
少林寺拳法	0	1	1	0	1	1	4
していない	19	12	9	10	8	10	68
その他	6	7	2	3	3	3	24
合 計	100	123	137	123	138	125	746

(2) 外遊び・運動嫌いの原因について

表5は質問 (2) の外遊びの好き嫌い、または体を動かすことの好き嫌いについての質問で、「③あまり好きではない」、あるいは「④好きではない」と回答した児童に対して、質問 (3) のどうして好きではないのかについての回答と回答数を全学年の合計数で示したものである。

体を動かすことや外で遊ぶことが好きではない理由は、「疲れる」が最も多かった。それは普段から運動をする習慣がないことや体力不足または器質によると考えられるため、体育の授業から徐々に器質に異常がなければ体力をつけるための運動をする習慣をつける必要があると考える。「あつい（汗をかく）・さむい」は室内にいたことが多く、自由に温度を調節できることに慣れ過ぎていたことが考えられた。「運動が苦手」、「慣れていない」についても、体育の授業で運動の楽しさや運動する習慣をつけることが必要であると考えられた。なお、学年別で見た場合には一定の傾向は認められなかった。

表5. 体を動かすことや外で遊ぶことが好きではない理由とその回答件数（件）

理 由	回答件数
疲れる	13
あつい（汗をかく）・さむい	10
運動が苦手	8
中の遊びの方が好き	6
外に行くのが嫌	4
慣れていない	2
その他	5
合 計	48

(3) 中遊びが好きな理由について

表6は質問(5)の中か外のどちらで遊ぶのが好きかの質問で、中遊びが好きと回答した児童に対して、質問(6)のその理由を低・中・高学年別ならびに合計数を件数で示したものである。

合計を見ると、中遊びが好きな児童は、中学年が33件と低学年が35件、高学年が49件に比べ一番少ないことが認められ、奥野ら⁵⁾と同様の傾向が認められた。理由としては「温度調節ができる」というものが最も多かった。低・中・高学年別で見ると、「温度調節ができる」という回答が高学年で多かった。高学年は、楽しさよりも快適さを求めていることが考えられた。また、「ゲーム・テレビ・パソコンができる」という回答は低学年で多かった。それは奥野ら⁵⁾とは異なり高学年では携帯電話や携帯ゲーム機の保有率は高いものの、室内の快適さに魅力を感じて中遊びが好きだと回答し、低学年はゲームやテレビ、パソコンの楽しさに魅力を感じて中遊びが好きであると回答したことを示していると考えられた。

表6. 中遊びが好きな理由とその回答数（件）

	低学年	中学年	高学年	合 計
温度調節ができる	10	12	19	41
ゲーム・テレビ・パソコンができる	11	6	7	24
静かで居心地がいい・落ち着く	6	4	9	19
読書が好き	2	7	5	14
遊ぶものがたくさんある	2	3	6	11
楽しい	1	1	1	3
折り紙ができる	2	0	1	3
ピアノができる	1	0	1	2
その他・未回答	8	4	13	25
合 計（有効回答）	35	33	49	117

(4) 外遊びが好きな理由について

表7は質問(5)の中か外のどちらで遊ぶのが好きかの質問で、外遊びが好きと回答した児

表 7. 外遊びが好きな理由とその回答数（件）

	低学年	中学年	高学年	合 計
身体を動かすことが好き	14	22	27	63
遊ぶものがたくさんある	9	16	18	43
外の遊びが好き	10	14	14	38
友達と遊べる	8	15	10	33
楽しい	11	7	13	31
広い	2	15	5	22
思い切り自由にできる	4	8	5	17
気持ちがいい	9	5	2	16
虫捕りができる	4	0	0	4
その他・未回答	9	7	2	18
合 計（有効回答）	71	102	94	267

童に対して、質問（6）のその理由を低・中・高学年別ならびに合計を件数で示したものである。

合計を見ると、外遊びが好きな児童は中学年が102件と最も多く、低学年が71件と少なかった。低学年が最も少ないという結果は、奥野ら⁵⁾とは異なった結果であった。外遊びが好きな理由を見ると、「体を動かすことが好き」という回答が63件と最も多く、低学年（14件）・中学年（22件）・高学年（27件）全てにおいて回答が多く学年が上がるごとに多くなっていく傾向が見られた。学年が上がるにつれて体を動かすことの好き嫌いに二極性が見られることが認められた。

低・中・高学年別で見ると、低学年の特徴として「虫捕りができる」という回答が4件と唯一認められた。それは学年が上がるにつれて遊び方が変わることを示している。しかし、「広い」という回答は2件で最も少なく、最も多い回答は他の学年同様「体を動かすことが好き」で14件であった。中学年の特徴として「広い」という回答と「友だちと遊べる」が15件と他の学年と比べて多く、さらに、低学年から中学年で「遊ぶものがたくさんある」が7件増えていることから遊びの幅が広がったことが考えられる。高学年の特徴として「体を動かすことが好き」(27件)が最も多い回答で、奥野ら⁵⁾と同様に特定の児童が積極的に活動している傾向が認められた。「気持ちがいい」という回答は2件と少なかった。

(5) 一番楽しかった外遊びについて

表8は質問（7）の今までで一番楽しかった外遊びは何かという質問に対しての回答数を学年別ならびに全学年の合計を示したものである。

種目別の合計数を見てみると、児童が一番楽しかった外遊びの上位3つは、「おにごっこ」(86件)、「ドッジボール」(81件)、「キックベース」(37件)であった。「おにごっこ」は2年生を除いてすべての学年で、「ドッジボール」は1、6年生を除いた学年で大変人気であったため「みんな遊び」を行う際などに取り入れることが効果的であると考えられる。他にも「野球」(26件)、「サッカー」(18件)と回答した児童が多かった。この結果は、表4質問（8）のどんな習いごとをしているかの質問で「野球」(37件)、サッカー（28件）を行っている児童が多かったことが関係していることが考えられた。

表 8. 今までで一番楽しかった外遊びとその回答数（件）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計
ドッジボール	2	21	10	23	19	6	81
キックベース	0	0	17	4	2	14	37
野球	0	1	5	3	6	11	26
サッカー	0	0	2	3	6	7	18
キャッチボール	0	0	4	0	2	1	7
バスケットボール	0	2	2	0	1	1	6
その他ボール遊び系	0	0	5	0	5	2	12
おにごっこ	19	9	11	24	11	12	86
こおりおに	3	0	2	2	6	0	13
けいどろ	0	0	0	2	3	5	10
その他おにごっこ系	0	3	5	2	0	0	10
ブランコ	4	11	1	0	3	2	21
うんてい	7	3	0	0	0	0	10
鉄棒	2	2	3	1	3	2	13
その他遊具系	9	4	2	0	4	0	19
大縄	0	0	0	1	1	8	10
一輪車	0	2	0	1	2	0	5
その他	10	4	5	2	4	3	28
未回答	6	1	2	4	4	5	22
有効回答数	56	62	74	68	78	74	412

学年別に見てみると、1年生で「ドッジボール」の回答件数は2件のみで、そのほかのボール遊びの回答もなかった。これは、普段から家庭や学校でボールを使った遊びをあまり行っていないことが原因の一つと考えられた。3年生と6年生は「キックベース」（17件、14件）が最も多く、他の学年で人気の「おにごっこ」や「ドッジボール」と回答件数が分かれる結果となった。その要因も表4 質問（8）の習いごとが3年生では「野球」（11件）、6年生では「サッカー」（8件）と多かったことが関係していると考えられた。

表中に太線で示したカテゴリー別で見ると、「ボール遊び系」が187 / 412人（45.4%）、「おにごっこ系」が119 / 412人（28.9%）、「遊具系」が63 / 412人（15.3%）であった。遊具系の遊びは学年が上がるにつれて行わなくなっている傾向が認められた。このことから体育などで遊具を使うことの楽しさや良さを指導していくことの必要性があると考えられた。

（6）休み時間における外遊びが嫌いな理由について

表9は質問（9）の休み時間での外遊びの好き嫌いの質問で、「③あまり好き

表 9. 休み時間に外で遊ぶのが好きではない理由とその回答数（人）

理 由	回答件数
暑い（寒い）	16
中で遊びたい	15
けがをする	8
疲れる	5
人が多い	5
他にやることがある	3
ゆっくりしたい	3
体が弱い	2
誘うのが恥ずかしい	2
つまらない	1
その他	7
合 計	67

ではない」、あるいは「④好きではない」と回答した児童に対して、質問（10）のどうして好きではないのかへの回答とその回答数の合計を示したものである。

回答としては「暑い（寒い）」が最も多く16件、次いで「中で遊びたい」が15件、「けがをする」が8件であった。質問（3）の結果同様「暑い（寒い）」が上位に来ていることから、外で遊びたくない児童は室内の快適さに魅力を感じていることが分かる。「けがをする」という回答が3番目に多く見られたことに対しては、普段から注意すべき場所や物などを理解させる努力によって減っていくと考えられる。「誘うのが恥ずかしい」という回答が2件であったが、「みんな遊び」を行うことでたくさんの人数で遊ぶことは楽しいと思えるようにする取り組みが外遊びのきっかけになると予想できる。なお、学年別で見た場合には一定の傾向は見られなかった。

（7）休み時間の遊び場所について

表10は質問（14）の休み時間に一番よく遊んでいる場所についての回答とその回答数を学年別ならびに全学年の合計で示したものである。

場所別の合計数を見ると、外が254／428人（59.3%）、中が173／428人（40.4%）であった。外のうち「中庭」と回答した児童は6／254人（2.4%）で、「運動場」と回答した児童は248／254人（97.6%）であり、外で遊ぶ児童のほとんどが「運動場」で遊んでいることが分かった。

学年別に見ると「中庭」と回答した児童は1年生（4人）と4年生（2人）のみであった。また、6年生は他の学年と異なり、「運動場」（26人）よりも「校舎内」（52人）の方が多いという結果であった。その理由として、表12質問（16）の休み時間に一番よくしている遊びで、「お話」という回答が20件と6年生で最も多かったことが関係していると考えられる。

表10. 休み時間に一番よく遊んでいる場所についての回答とその回答数（人）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計
①運動場	38	43	45	50	46	26	248
②中庭	4	0	0	2	0	52	58
③教室（校舎内）	19	18	31	18	35	1	122
④その他	0	0	0	0	0	0	0
未回答	2	2	0	0	0	5	9
有効回答数	61	61	76	70	81	79	428

（8）休み時間に遊ぶ場所で困っていることについて

表11は質問（15）に対する回答とその回答数を全学年の合計数で示したものである。なお、未回答が多かったため有効回答数のみを示した。

児童が困っていることで最も多かった回答は「ボールが飛んできて危ない」（20人）であった。質問（14）の結果からも分かるように非常に多数の児童が運動場でよく遊んでいる。そこで、ボール遊びをする時の投げの向きや、場所をしっかりと区切るなどすることでボールの飛んでくる方向が予測できるため、安全性は向上すると考えられる。ほかにも「場所の取り合いになる」（5人）や、「ブランコを替ってほしい」（4人）はルールを明確にすることで改善される

表11. 休み時間に遊ぶ場所でこまっていることについての回答とその回答数（人）

理 由	回答件数
ボールが飛んできて危ない	20
他の児童がいるとやりにくい	5
運動場が狭い	5
場所の取り合いになる	5
虫がいる	5
ブランコを替わってほしい	4
教室が騒がしい	4
ブランコの数が少ない	3
遊ぶ場所が少ない	3
ルールを守らない人がいる	3
人が多い	3
その他	14
合 計	74

と考えられる。しかし、「ルールを守らない人がいる」（3人）という回答があった以上、根気強く指導を行う必要があると考えられる。なお、学年別に見た場合には一定の傾向は認められなかった。

(9) 休み時間に人気の遊び

表12は質問（16）の休み時間に一番良くしている遊びについての回答とその回答数を学年別ならびに全学年の合計数で示したものである。

種目別の合計数を見ると、休み時間に一番よくしている遊びの上位3つは、「キックベース」（63件）、「おにごっこ」（61件）、「ドッジボール」（58件）であり、表8の今までで一番楽しかつ

表12. 休み時間に一番よくしている遊びについての回答とその回答数（件）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計
キックベース	0	0	19	9	13	22	63
ドッジボール	0	17	0	25	15	1	58
その他ボール遊び系	0	0	6	0	7	1	14
おにごっこ	21	6	9	21	2	2	61
その他おにごっこ系	6	3	1	1	0	1	12
ブランコ	0	10	3	1	3	1	18
鉄棒	2	0	4	1	6	0	13
うんてい	4	4	4	0	0	0	12
その他遊具系	6	2	2	2	5	1	18
お話	0	2	7	2	7	20	38
読書	0	3	9	1	10	12	35
自由帳	3	4	3	2	2	2	16
折り紙	0	3	0	0	3	0	6
学校探検	1	1	0	0	1	1	4
その他	13	6	5	3	7	12	46
未回答	7	2	4	2	0	3	18
有効回答数	56	61	72	68	81	76	414

た外遊びと順番は違うものの、同じ種目が上位であった。「キックベース」は低学年では行われていないものの、やはり3年生（19件）と6年生（22件）で人気の遊びである。反対に「おにごっこ」は高学年であまり行われていないものの、1年生と4年生でよく行われていることが認められた。

カテゴリー別で見ると、ボール系の遊びが135 / 414人（32.6%）、おにごっこ系の遊びが73 / 414人（17.6%）、遊具系の遊びが61 / 414人（14.7%）であった。また、その他の遊び99 / 414人（23.9%）は室内の遊びである。学年が上がるにつれて室内で遊ぶ児童が増える傾向が認められた。

(10)「みんな遊びが」楽しくない理由について

表13は質問（17）の「みんな遊び」は楽しいかという質問で、「③あまり楽しくない」、あるいは「④楽しくない」と回答した児童に対して、質問（18）のどうして楽しくないのかへの回答とその回答数の全学年の合計を件数で示したものである。

理由別の合計数を見ると「もめごとが起こる」という回答が6件で最も多いが、「やりたい遊びができない」（5件）、「ルールを守らない人がある」（3件）、「ブーイングが起こる」（2件）があり、ルールや遊び係をしっかりと決めて徹底することが大切であると考えられた。さらには、児童の好きな遊びを事前に把握し、その学年に応じた遊びを行うことが効果的であると考えられる。

学年別で見ると、1年生は「みんな遊び」が何を指すかわからず回答していて、2年生は「みんな遊び」を行っていないため有効な回答はなかった。しかし、質問（1）、（9）の外で遊ぶことが嫌いだと回答した児童の割合より、「みんな遊び」を楽しんでいる児童の割合が少ないことから、「みんな遊び」は外遊びの推進に効果があることが示唆された。

表13. 「みんな遊び」が楽しくない理由についての回答とその回答数（件）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合 計
もめごとが起こる	0	0	2	0	4	0	6
やりたい遊びができない	0	0	0	3	0	2	5
ルールを守らない人がある	0	0	2	0	0	1	3
人がいっぱいいるのが苦手	0	0	0	2	1	0	3
強い人がどうしても勝つ	0	0	0	1	0	1	2
弱いから狙われる	0	0	0	1	0	1	2
ブーイングが起こる	0	0	0	1	0	1	2
手加減をしないといけない	0	0	0	0	1	1	2
ゆっくりしたい	0	0	0	0	1	0	1
その他	1	0	1	0	2	0	4
未回答	0	1	0	0	0	0	1
有効回答数	1	0	5	8	9	7	30

V. まとめ

本研究では、外遊びが減少した原因を調べるための基礎調査として1つの小学校を対象に児

童の外遊びの現状に関するアンケートを行い、その結果からどのような働きかけをすれば児童の外遊びが推進されるのかを導き出そうとした。

本研究より得られた結果は以下のようにまとめられた。

- ・ 運動や外遊びが好きな児童は多いため体育の授業を中心に運動する習慣をつけさせる必要がある。
- ・ 家庭と連携し、習いごとがない日などはゲームやスマートフォンで遊ぶのではなく、外で遊ぶように声をかけてもらう。
- ・ 学級で「みんな遊び」を行う。
- ・ 児童が楽しいと思った遊びを「みんな遊び」で取り入れ、ルールなども明確にする。
- ・ 「みんな遊び」では、その学年の発育・発達に応じた遊びを行うよう促す。
- ・ 外で遊ぶ際の危険な場所や物についての指導を徹底する。

Ⅵ. 今後の課題

考察を進めていく中で、遊ぶ時間は習いごとや携帯電話、スマートフォン、携帯ゲーム機の所有率などが関係していることが認められた。しかし、1日どのくらいの時間使用しているか調査できれば、さらに深い関係性が見えたことが示唆された。そのために習いごとやスマートフォンを1日にどのくらい使用しているかの質問項目を設定することが必要であると考えられた。

謝辞

本研究の遂行に際し貴重な時間を割いてアンケート調査にご協力いただいた、Y市立K小学校の校長先生ならびに教員の皆さま、また、全校児童に心から感謝と御礼を申し上げます。

文献

- 1) 文部科学省 幼児期運動指針策定委員会 (2012)「幼児期運動指針 別紙1」、p 1-3.
- 2) 文部科学省 (2008)「小学校学習指導要領」、p 14.
- 3) 文部科学省 (2013)「平成25年度 全国体力・運動能力、運動習慣調査 報告書」、p 28.
- 4) 入口 豊、斉藤 覚、稲森あゆみ、市原悦子、屋麻戸浩 (2009)「大阪市における児童の屋外遊びの実態に関する経年比較研究 (I) -特に遊び時間と遊び場について-」、大阪教育大学紀要 第IV部門 57 (2)、p 53-67.
- 5) 奥野 暢通、大槻 和貴 (2015)「児童の小学校における休み時間の外遊び推進に関するアンケートの結果から見た一考察」四天王寺大学紀要 第61号、p 299-318.
- 6) 文部科学省 国立教育政策研究所 (2015)「平成27年度全国学力・学習状況調査のポイント」

付記 1（中・高学年用）

そとあそび
外遊びアンケート

みなさんの外遊びの様子を調べるために、アンケートをします。
①～⑤、中か外のどちらかに○をし、() は自由に書いてください。

学年	年
----	---

(1) あなたは、外で遊ぶことが好きですか。
①好き ②まあまあ好き ③あまり好きではない ④好きではない

(2) あなたは、体を動かすことが好きですか。
①好き ②まあまあ好き ③あまり好きではない ④好きではない

(3) (1) (2) で③④と答えた人に質問です。体を動かすことや、外で遊ぶことが、
なぜ好きではないのですか。

--

(4) あなたは、1日にどのぐらい外で遊びますか。(近いと思う番号に○をつけましょう)
①2時間～ ②1時間～2時間 ③30分～1時間 ④30分～ 全く遊ばない

(5) あなたは中か外どちらで遊ぶのが好きですか。
それはなぜですか。

外・中

(7) あなたが、今までで一番楽しかった外遊びは何ですか。

--

(8) あなたは、どんな遊びをしていますか。(全て記入しましょう)

--

・学校
(9) あなたは、休み時間に外で遊ぶことは好きですか。
①好き ②まあまあ好き ③あまり好きではない ④好きではない

(10) (9) で③④と答えた人に質問です。なぜ好きではないのですか。

--

(11) あなたは、朝休みにどのぐらい外で遊んでいますか。(近いと思う番号に○をつけま
しょう)
①ほぼ毎日 ②2日に1回 ③1週前に1回 ④全く遊ばない

(12) あなたは、中間休みにどのぐらい外で遊んでいますか。(近いと思う番号に○をつけ
ましょう)
①ほぼ毎日 ②2日に1回 ③1週前に1回 ④全く遊ばない

(13) あなたは、昼休みにどのぐらい外で遊んでいますか。(近いと思う番号に○をつけま
しょう)
①ほぼ毎日 ②2日に1回 ③1週前に1回 ④全く遊ばない

(14) あなたが、休み時間に一番よく遊んでいる場所はどこですか。
①運動場 ②中庭 ③教室(校舎内) ④その他 ()

(15) 休み時間に遊ぶ場所について困っていることはありませんか。

[]

(16) あなたが、休み時間に一番よくしている遊びは何ですか。

[]

(17) 「みんな遊び」は楽しいですか。

①楽しい ②まあまあ楽しい ③あまり楽しくない ④楽しくない ⑤していない

(18) (17) で③④と答えた人に質問です。その理由を教えてください。

[]

ご協力ありがとうございました。

付記 2（低学年用）

外あそびアンケート

みなさんの外あそびのようすをしらべたいため、アンケートをします。
①～⑥、外あそびのどれかに○をし、（ ）は、じゆうにのみでください。

かくねん
ねん

- (1) あなたは、外であそぶことがすきですか。
①すき ②まあまあすき ③あまりすきではない ④すきではない
- (2) あなたは、からだをうごかすことがすきですか。
①すき ②まあまあすき ③あまりすきではない ④すきではない
- (3) (1) (2) で③④とこたえた人にしつもんです。からだをうごかすことや、外であそぶことが、なぜすきではないのですか。
〔 〕
- (4) こたえてください。
- (5) あなたは、外あそびのどちらであそぶことがすきですか。
(6) それはなぜですか。 外・中
〔 〕
- (7) あなたが、いままでいちばんのしかった外あそびはなんですか。
〔 〕
- (8) あなたは、どんなないことをしていますか。(すべて書きましょう)
〔 〕
- ・ あそび あそび
(9) あなたは、やすみじかに外であそぶことはすきですか。
①すき ②まあまあすき ③あまりすきではない ④すきではない

- (10) (9) で③④とこたえた人にしつもんです。なぜすきではないのですか。
〔 〕
- (11) あなたは、あそびやみにどのぐらい外であそんでいますか。(ちやいとおもいうばんごうに○をつけましょう)
①ほぼまいにち ②2日に1かい ③1しゅうさんに1かい ④まったくあそびません
(12) あなたは、ちやうかんやすみにどのぐらい外であそんでいますか。(ちやいとおもいうばんごうに○をつけましょう)
①ほぼまいにち ②2日に1かい ③1しゅうさんに1かい ④まったくあそびません
(13) あなたは、ひるやすみにどのぐらい外であそんでいますか。(ちやいとおもいうばんごうに○をつけましょう)
①ほぼまいにち ②2日に1かい ③1しゅうさんに1かい ④まったくあそびません
(14) あなたが、やすみじかにいちばんよくあそんでいるのはどこですか。
①うんどうじよう ②なかにわ ③きようしつ (こうしやのす) ④そのほか ()
(15) やすみじかにあそぶばしょについてこまっていることはありますか。
〔 〕
- (16) あなたが、やすみじかにいちばんよくしているあそびはなんですか。
〔 〕
- (17) 「みんなあそび」はたのしいですか。
①たのしい ②まあまあたのしい ③あまりたのしくない ④たのしくない
⑤してない
(18) (17) で③④とこたえた人にしつもんです。なぜたのしくないのですか。
〔 〕
- こきようりよくありがとうございしました。

付記 3 (追加項目、中・高学年用)

- (19) あなたは、携帯電話やスマートフォンを持っていますか。
①持っている ②持っていない
- (20) それは誰ののですか。
①自分 ②家族 ③その他（ ）
- (21) あなたは、携帯ゲーム機を持っていますか。
①持っている ②持っていない
- (22) それは誰ののですか。
①自分 ②家族 ③その他（ ）

付記 4 (追加項目、低学年用)

- (19) あなたは、けいたいでんわやスマートフォンをもっていますか。
①もっている ②もっていない
- (20) それはだれのものですか。
①じぶん ②かぞく ③そのほか ()
- (21) あなたは、けいたいゲーム機をもっていますか。
①もっている ②もっていない
- (22) それはだれのものですか。
①じぶん ②かぞく ③そのほか ()